

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	1-2-3		事業名	子どもの自然体験活動事業			
担当	教育委員会 生涯学習部 生涯学習推進課 野外教育担当係 高橋 211-3872						
全体計画							
事業内容	子どもたちが主体的に実践し、自主性や協調性をはぐくみ、「生きる力」を身につけていくために、林間学校やアタックキャンプなどの事業を実施する。		<年度別の事業内容>				
			平成19年度～平成22年度 夏季・冬季林間学校、夏季・冬季(モデル事業)アタックキャンプ、野外活動指導員研修の実施。				
事業内容	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	<p><林間学校>9,574千円 ・対象:市内の小学校3年生～6年生 ・会場:市内の小学校及び青少年山の家などの社会教育施設 ・参加人数:夏季1,128人(定員1,066人)、冬季630人(定員650人) ・参加費用:夏季11,000円・13,800円、冬季13,800円 ・活動内容:テント泊、野外炊飯、キャンプファイア、登山、ごえもん風呂、チューブ滑り、歩くスキー、スノーシュー、レクリエーションなど <アタックキャンプ>5,614千円 ・対象:市内の中学校1年生～3年生 ・会場:夏季は藤野野外スポーツ交流施設、冬季は滝野自然学園 ・参加人数:夏季75人(定員60人)・冬季39人(定員60人) ・参加費用:15,000円 ・活動内容:テント泊、野外炊飯、キャンプファイア、登山、川上り、ごえもん風呂、基地作り、レクリエーションなど <野外活動指導員研修>3,370千円 ・対象:市内及び近郊の大学生1・2年生、短大及び専修学校の1年生 ・募集定員:50人 ・活動内容:野外活動を行うのに役立つ知識や技術、楽しい遊びの方法などを伝え、市民がより充実した活動ができるようサポートをする指導者(青年ボランティア)を養成 【事業費(決算額)18,823千円】</p>			<p><林間学校>8,659千円 ・対象:市内の小学校3年生～6年生 ・会場:市内の小学校及び青少年山の家などの社会教育施設 ・参加人数:夏季(定員1,066人)、冬季(定員650人) ・参加費用:夏季11,000円・13,800円、冬季13,800円 ・活動内容:テント泊、野外炊飯、キャンプファイア、登山、ごえもん風呂、チューブ滑り、歩くスキー、スノーシュー、レクリエーションなど <アタックキャンプ>5,301千円 ・対象:市内の中学校1年生～3年生 ・会場:夏季は藤野野外スポーツ交流施設、冬季は滝野自然学園 ・参加人数:夏季(定員60人)、冬季(定員60人) ・参加費用:15,000円 ・活動内容:テント泊、野外炊飯、キャンプファイア、登山、川上り、ごえもん風呂、基地作り、スノーシューなど <野外活動指導員研修>3,226千円 ・対象:市内及び近郊の大学生1・2年生、短大及び専修学校の1年生 ・募集定員:50人 ・活動内容:野外活動を行うのに役立つ知識や技術、楽しい遊びの方法などを伝え、市民がより充実した活動ができるようサポートをする指導者(青年ボランティア)を養成 【事業費(予算額)17,362千円】</p>			
達成目標の状況							
項目		18年度末(現状)	19年度末(実績)	20年度末(予定)	21年度末(予定)	22年度末(予定)	22年度末(目標)
林間学校参加者の親から見た子どもたちの成長度合い(5点満点)		3.58	未実施	3.80	3.90	4.00	4.00
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 札幌市定山溪自然の村(社会教育施設)において、市民等のファミリー利用者等に対し、野外活動のボランティアとして参加。利用者間の交流促進を図る。</p> <p>企業等との連携・協働 【資金協力】 【人材協力】事業の指導者等に札幌市野外活動教育研究会及び財団法人札幌市青少年女性活動協会の指導者があたっている。 【情報協力】 【その他の協力】</p> <p>市民・企業等が参加しやすい環境づくり 各事業とも、出来るだけ参加費を抑えるため、ボランティア等の指導者で実施している。</p>							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	1-2-3		事業名	子どもの自然体験活動事業			
評価(成果)			課題				
<p>自然体験活動は、その体験の過程の中に子どもたちが成長するための多様な学びがあり、豊かな人間性や社会性を獲得し、子どもの「生きる力」をはぐくむ上で極めて有用なものである。札幌市の豊かな自然環境を活用し、学校教育と社会教育が連携して実施するこうした事業は、子どもを取り巻く様々な課題に対処する上で、その果たす役割は今後ますます重要になっていくものと思われる。</p>			<p>林間学校は定員以上の応募があり、抽選により参加者を決定している。定員枠の拡大には、定員相当の指導者の確保が必要である。</p>				
今後の事業の予定・方向							
<ul style="list-style-type: none"> 林間学校の参加対象(現在は小学3~6年生)の拡大について検討を行う。 林間学校及びアタックキャンプの事業及び指導体制の一元化について検討を行う。 							
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	-	-	-	-	-	
	財源内訳	国・道支出金					
		市債					
		その他					
一般財源							
予算	事業費	19,376	17,362	-	-	36,738	
	財源内訳	国・道支出金	0	0			0
		市債	0	0			0
		その他	11	8			19
一般財源	19,365	17,354			36,719		
実績	事業費	18,823	-	-	-	18,823	
	財源内訳	国・道支出金	0				0
		市債	0				0
		その他	8				8
一般財源	18,815				18,815		
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				-	
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)							
(全体)							
[19年度]							
[20年度]							